

“**タニザワ式**”

MINE TUBE

簡易な換気用風管



2~5mm径 No.5079 0.6mm厚
+100 7-10mm径

2~5mm径 918径 0.6mm厚
金輸入 2~3mm径 918径 50mm厚
螺旋式 3~4mm径 918径

6"以上 3"以下
8"以上 4"以下
14"以上 6"以下

針山印

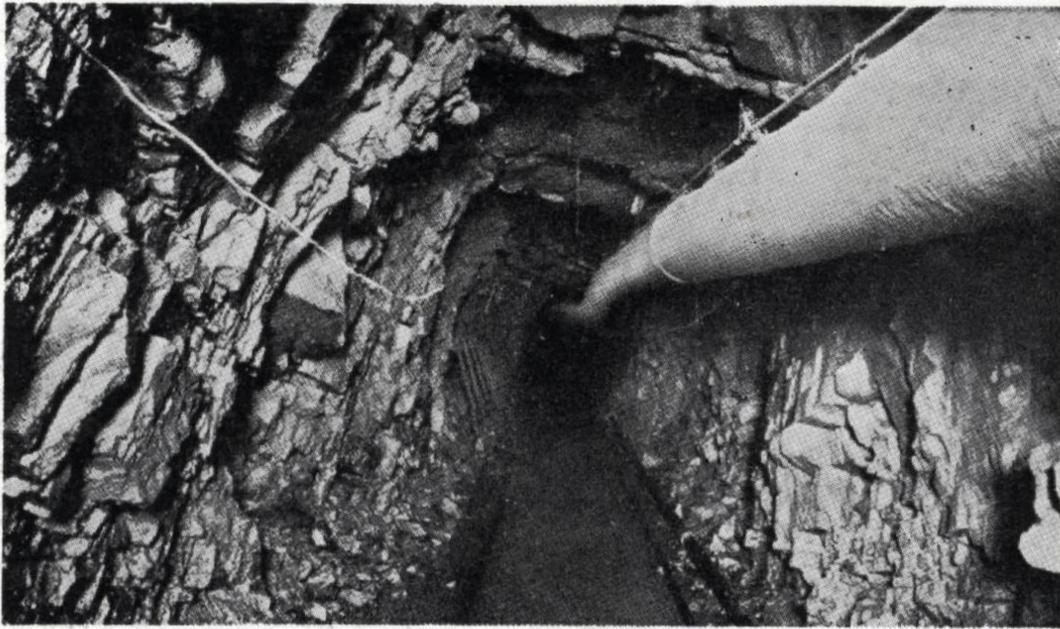
製造 発 賣 元

株式会社 谷 澤 製 作 所

本 社 東京都中央区京橋二丁目一番地
電 話 (56) 2 4 8 7 . 8 0 2 5
工 場 玉 川 ・ 松 戸



軽くて評判の良い、タニサワ式



トンネル内とか、鉱山の坑道深くに送風する方法としては、従来一般に五尺、十尺長さの鋼管又は木管を接続して使用せしも、マインチューブの如く丈夫な繊維製品に特殊の塗装を施し加工すれば、一本の長さ五十尺とか、百尺位迄継手なしにて延々として使用することが出来る、従つて途中のエアーの漏れはなし、軽量であるため天井に針金を張り、その下に吊り下げ一人で容易に何百尺でも敷設することが出来る。それ故経費の節約は莫大であります。

移動が容易

工事が進行したら引懸けを外して折り畳み次の場所に移します。こんなに簡単に出来るのに沢山の人手を使つて鉄管や木管を運ぶなどは時代逆行であります。

早く作業場に空気を送つて能率をドンドン挙げ利益を増して下さい。

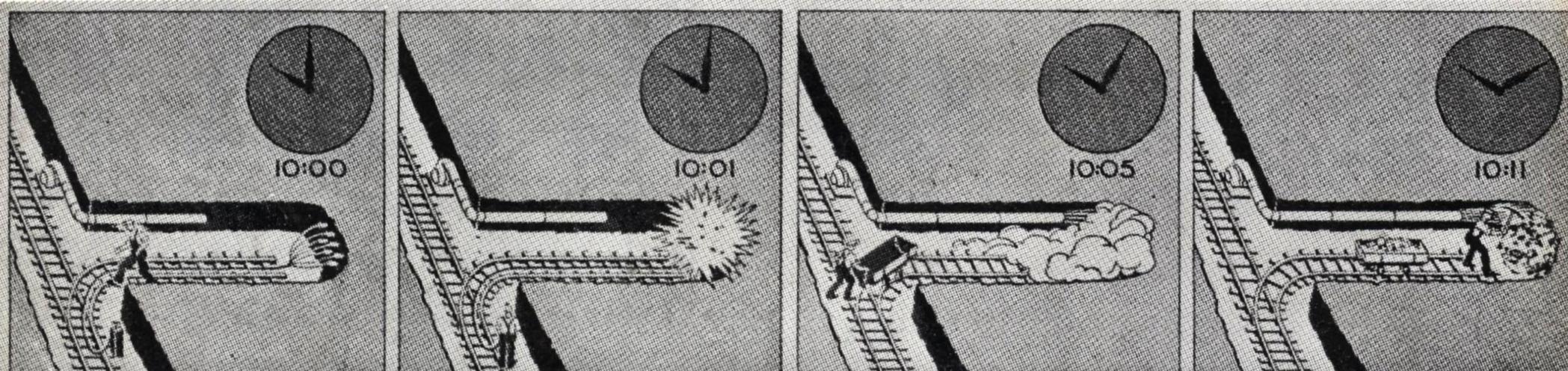
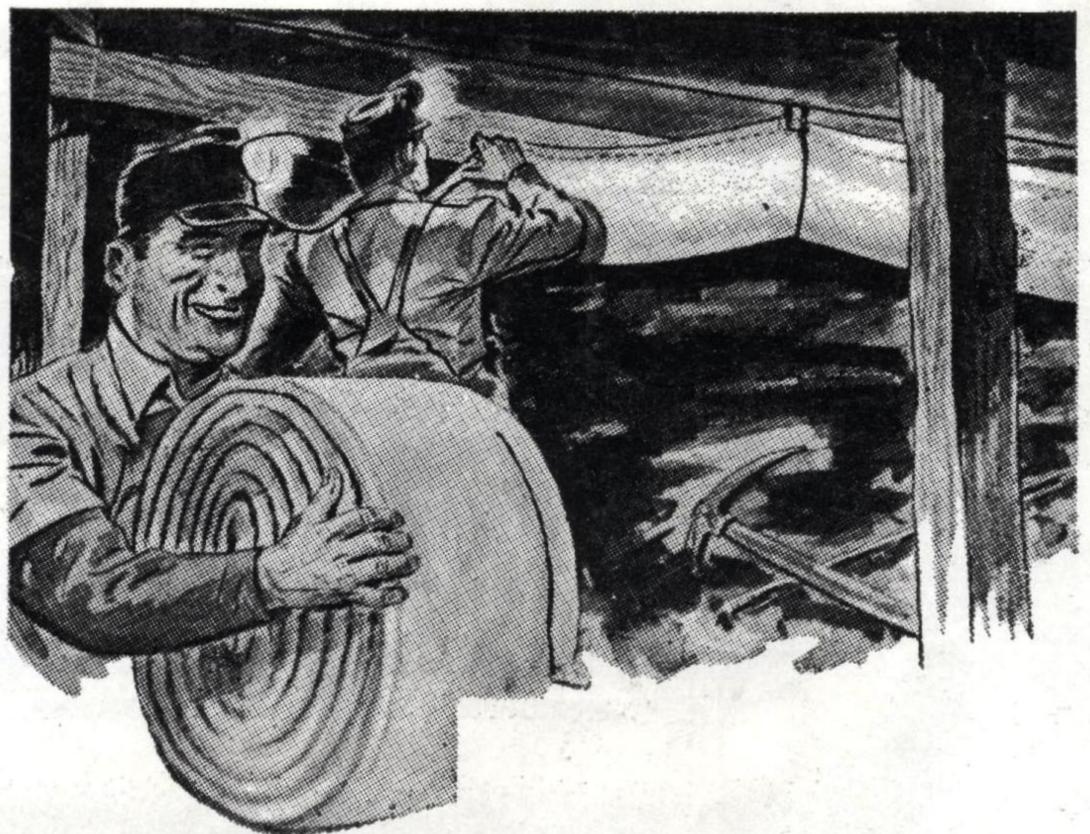


瓦斯排出法

鉱山、炭鉱、水道トンネル等を掘進する際、換気送風等の一般用途の外、坑道内の爆煙の臭気や濛煙を、急速に駆逐して直ちに、次の作業に着手せしめるための目的や、坑内の温度乃至湿度等の緩和、災害発生の場合の応急救済には勿論、届曲自在で手軽でありますから、毎日でも配管の場所を変更して使用する

事が出来る計りでなく、丈夫で耐久力に富み値段が安く取扱ひが簡単で、各方面から非常な好評を頂いております。従つてマインチューブは従来御使用中の木製、又は鉄板製の送風管の先に三十尺とか五十尺とか補助的に取付けたり、又は全然之れと置換へて頂きたい計りでなく、更なるその応用範囲を拡大して合理的に坑内を清浄に保ち坑内係員の衛生保健上には勿論、危険防止と採掘作業能率増進のために是非採用願いたいのであります。

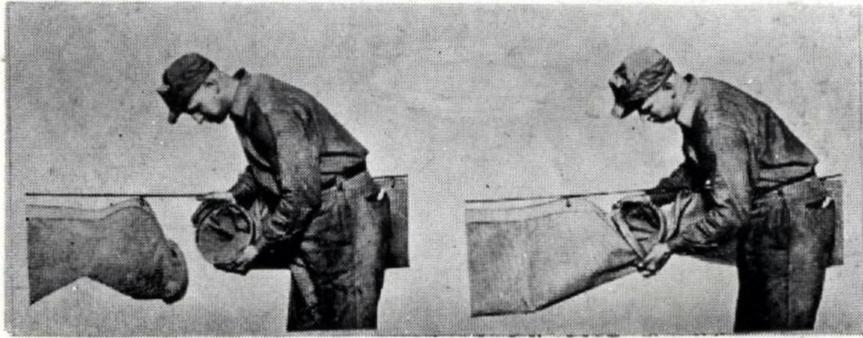
『マイト』に着火後十分後に作業出来るのも、送風機とマインチューブの利用の賜であります。能率と衛生によく、生産は増強して利益は挙がるし一日も早くマインチューブの使用欠く可からざる理由であります。



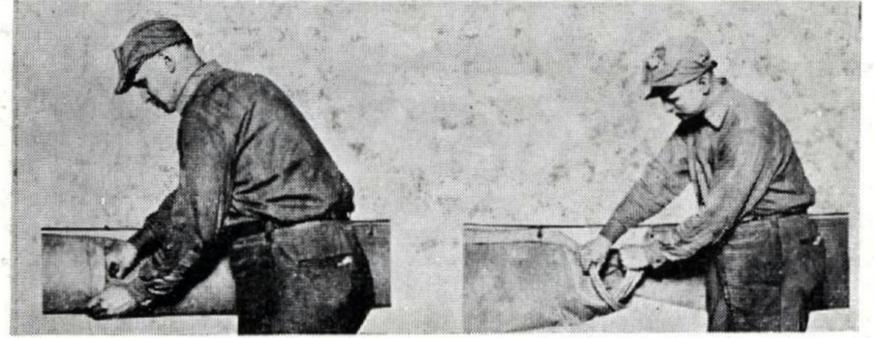
メインチューブ (送风管)

接続法

チューブとチューブとを接続するには両端の(継手)を他方の(継手)に差し込み引張ればよいのであります。離すときは押し込んだ方の継手を縮めて引張れば外れます。



接続法

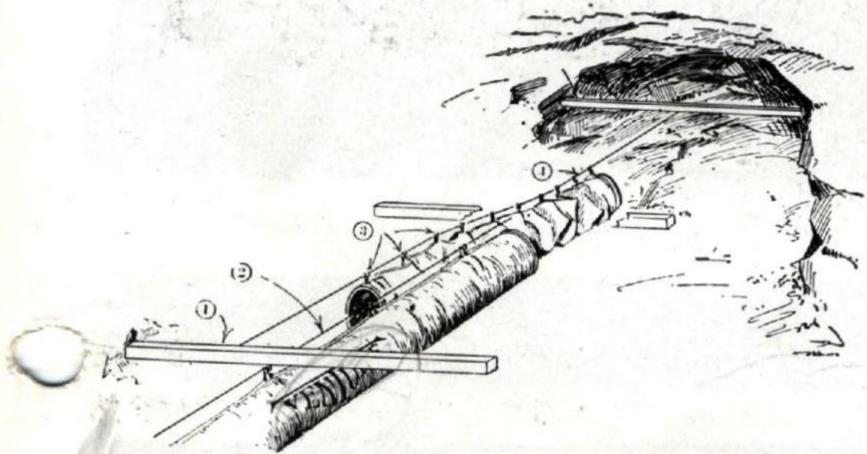


取外し法

取付方

水平吊 マイん チューブ を水平に吊るには簡単な梁又は支柱に針金を張り、之に「フック」を掛け吊り下げるのであります。従つて極く手軽に坑内の何処へでも取付ける事が出来ます。

垂直吊 急傾斜又はシャフトに吊る場合には継金具を附して適当に豎に吊るのであります。



1. 支梁 2. 釣針金 3. フック 4. マイん チューブ

(注意) 「ハツバ」を使用して爆発が強き時は「マイん チューブ」を余り近づけぬ様 100 尺程手前に手操つて置く事が必要であります。然しそれにもマイん チューブは伸縮自在で便利であります。

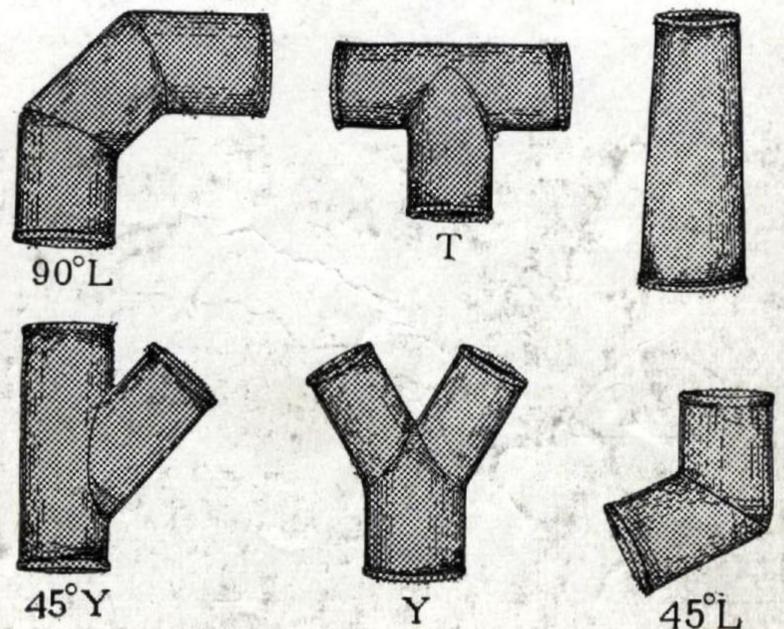
寸法

マイん チューブの寸法は普通次の如くあります。
 直径 8吋 10吋 12吋 14吋 16吋 18吋 24吋
 長さ 5米 10米突 20米突
 尚御希望の長さにも加工、製作が出来ます。

曲管又は支管

曲管又は支管は90度管、T型管、Y型管45度L型管、45度 Y型管等色々の異型管を必要に応じて製作しております。

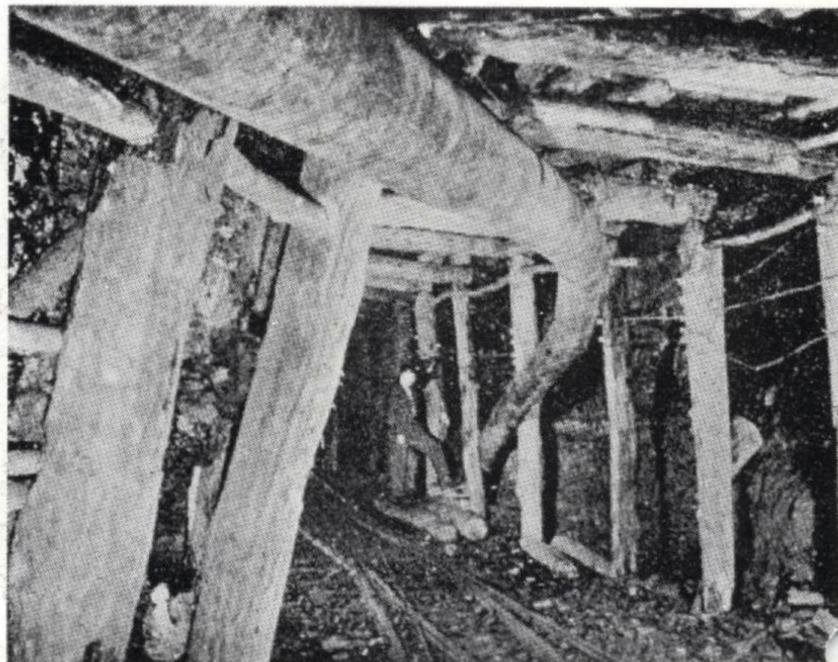
送風機の排出口からチューブに接続する間の径落し即ちレテューサーは必ず必要ですから送風機御手持ちの時は出口の寸法を御知らせ下さい。



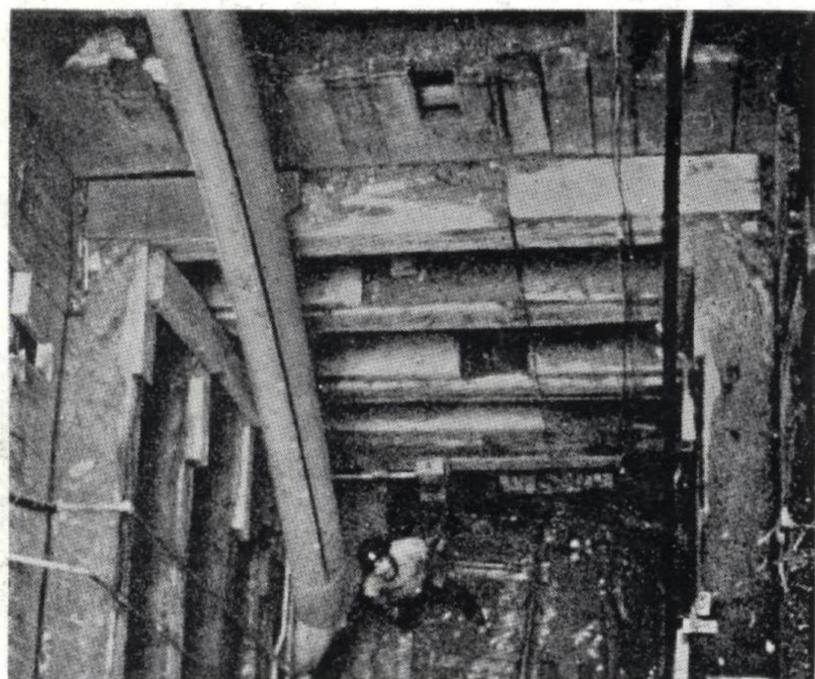
「マインチューブ」の使用実況



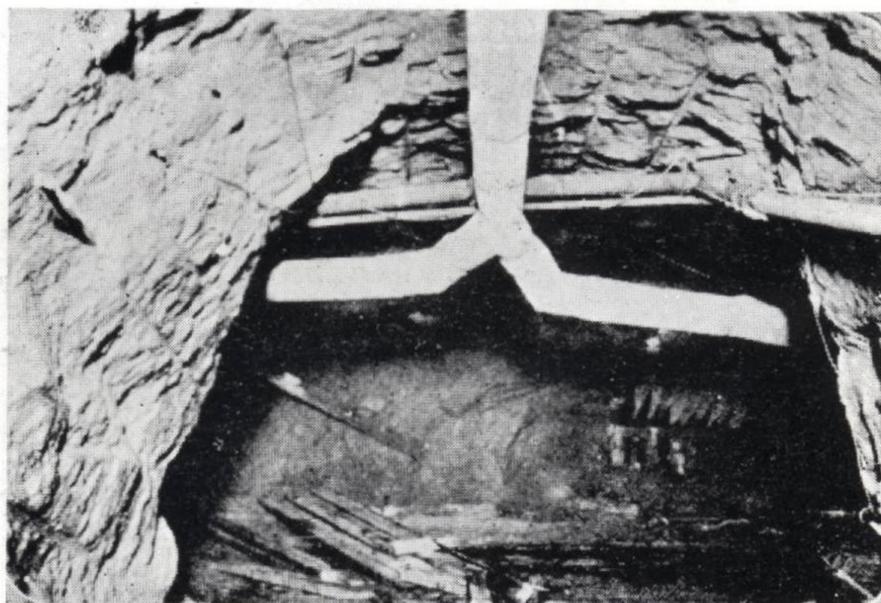
1. 坑道換気用使用



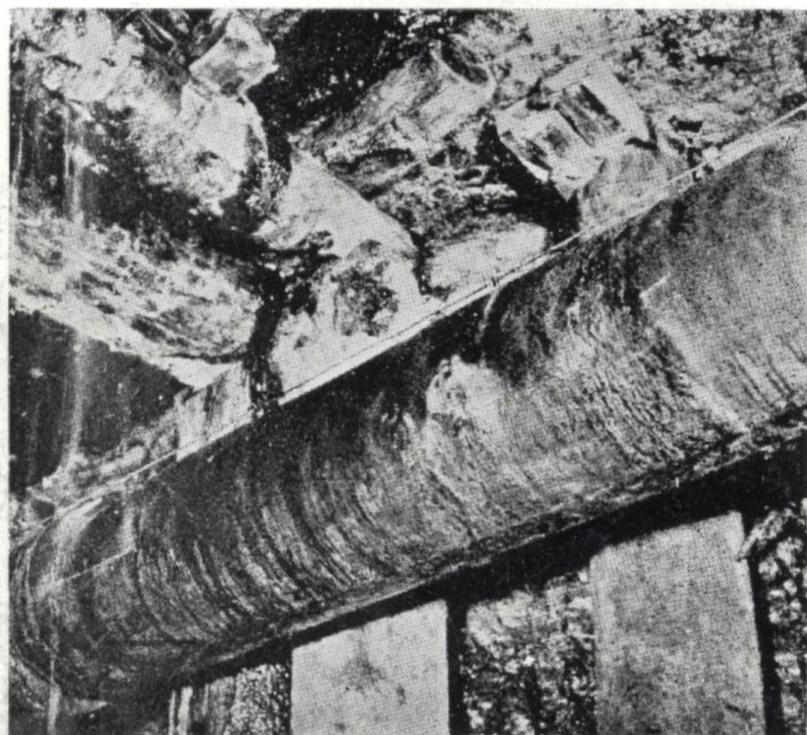
2. 坑内で邪魔にならないで頭上に取付てある



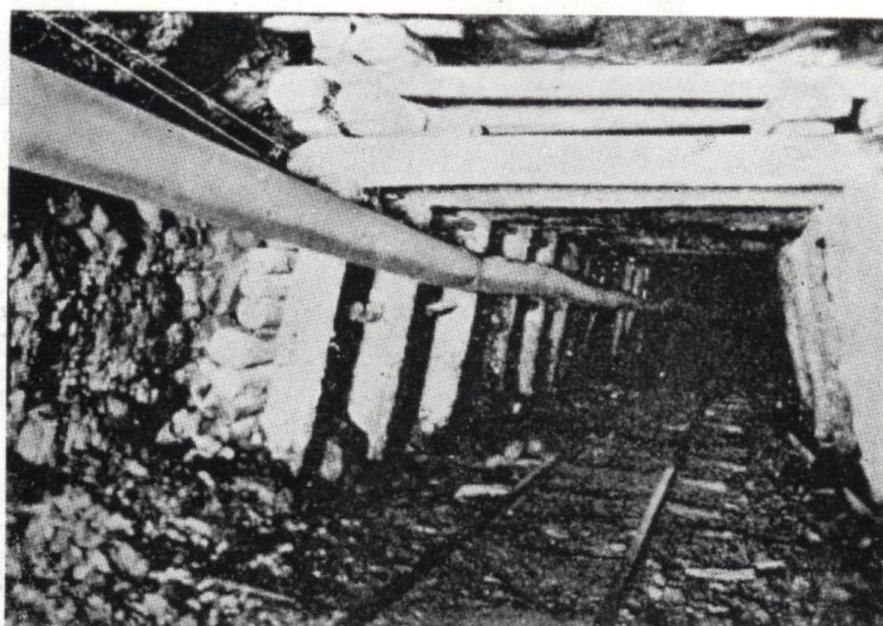
3. 竖坑から通気して坑底に於てY型管にて左右に送風しておる



4. Y型管の応用

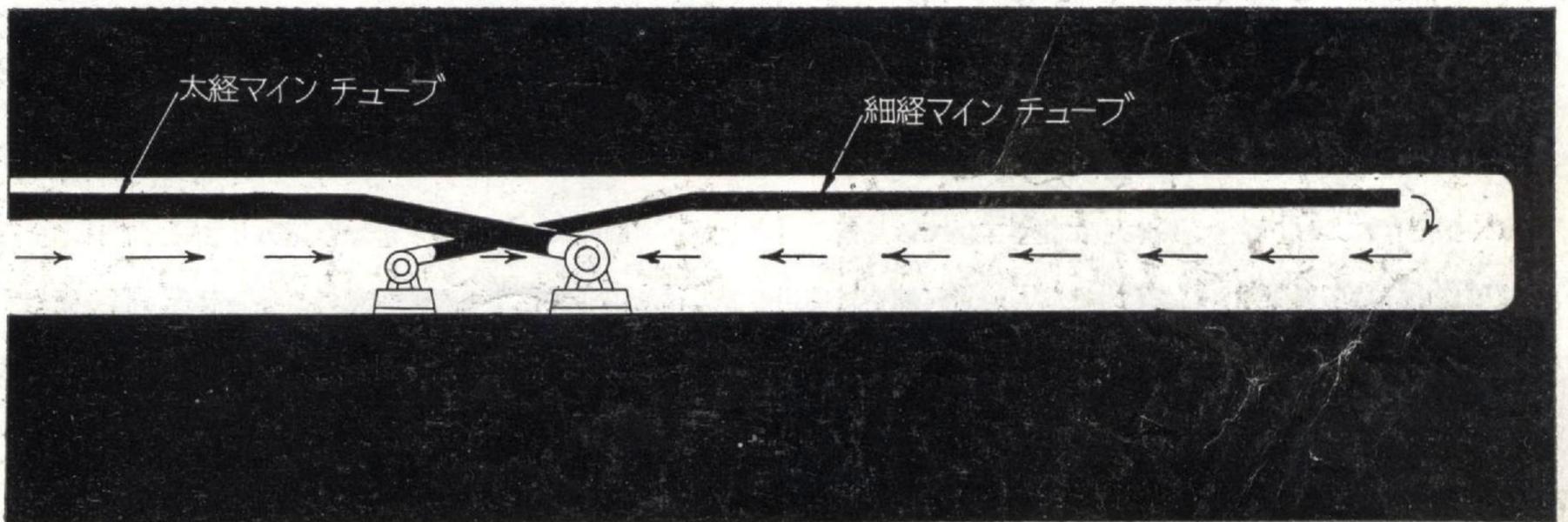
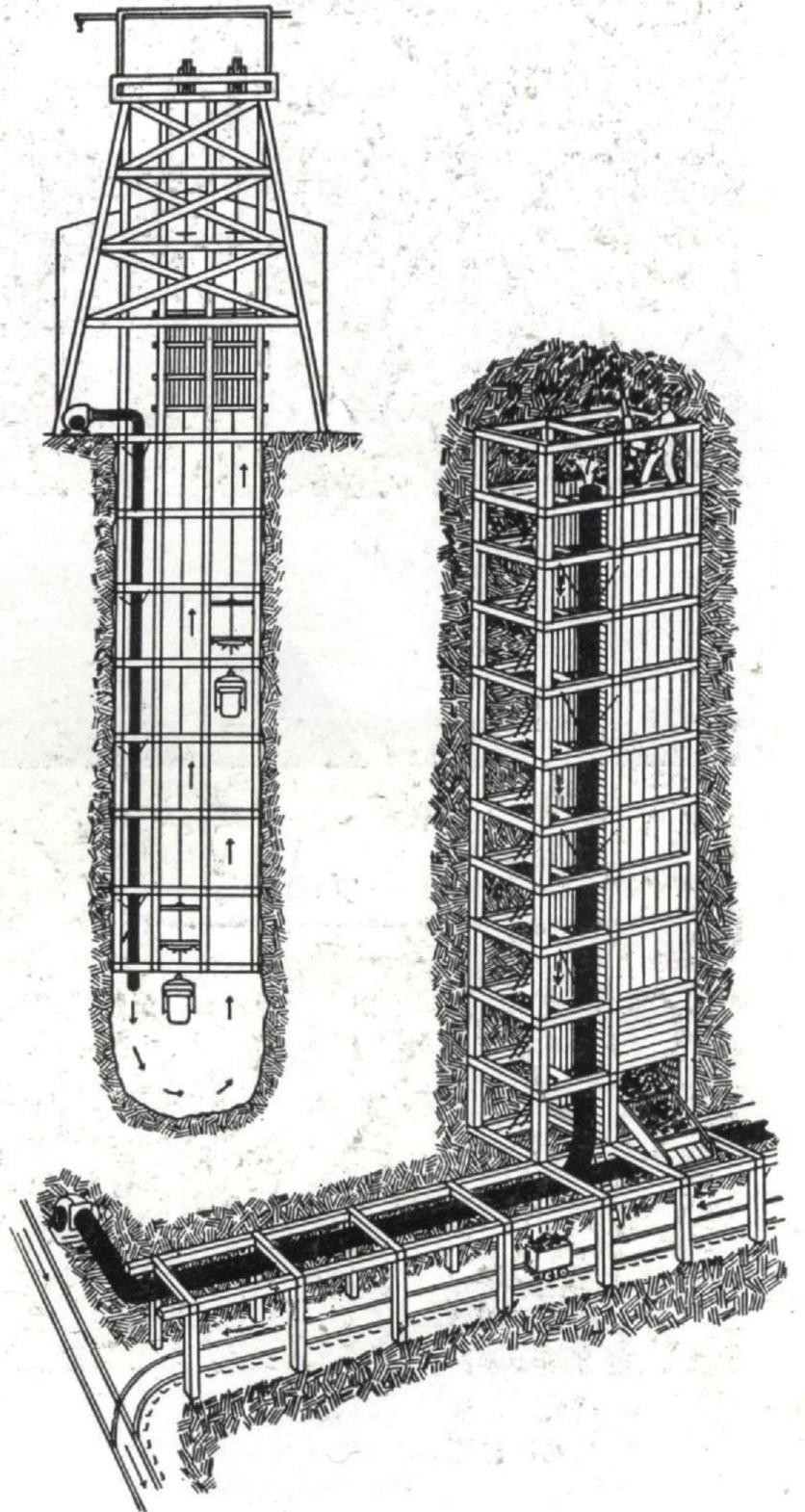
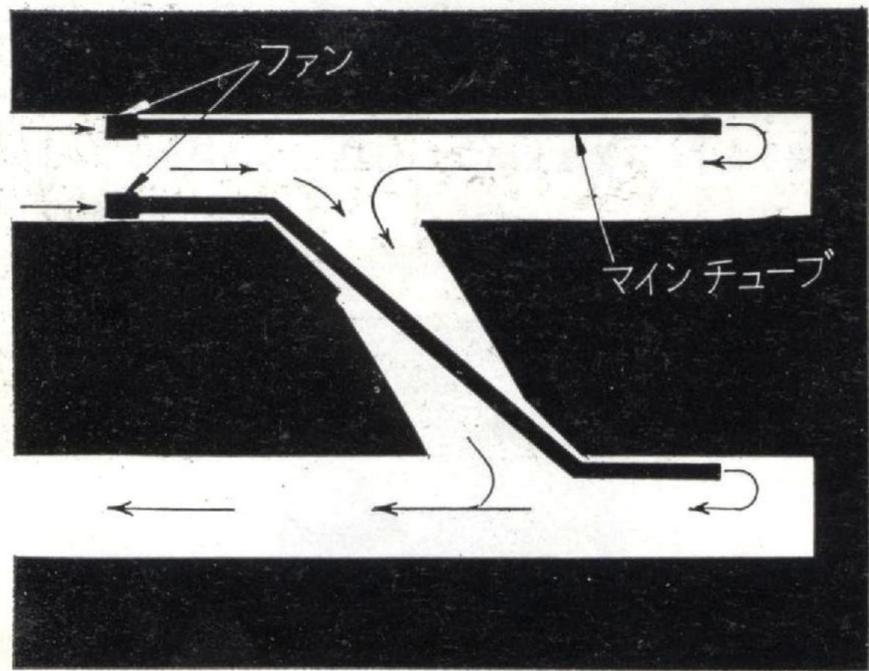
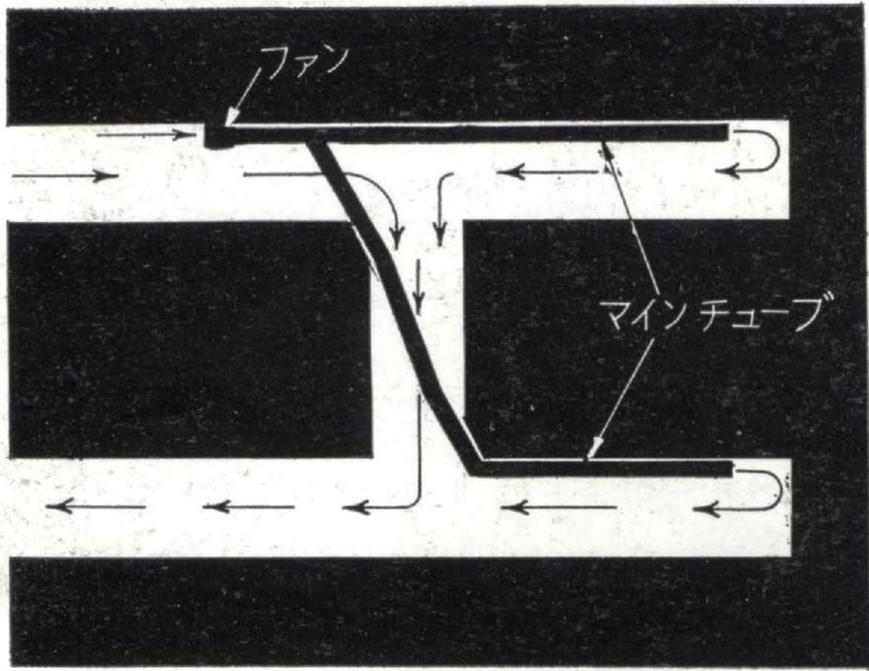


5. 酸性の多い坑内にての使用実況



6. 坑道内送風実況

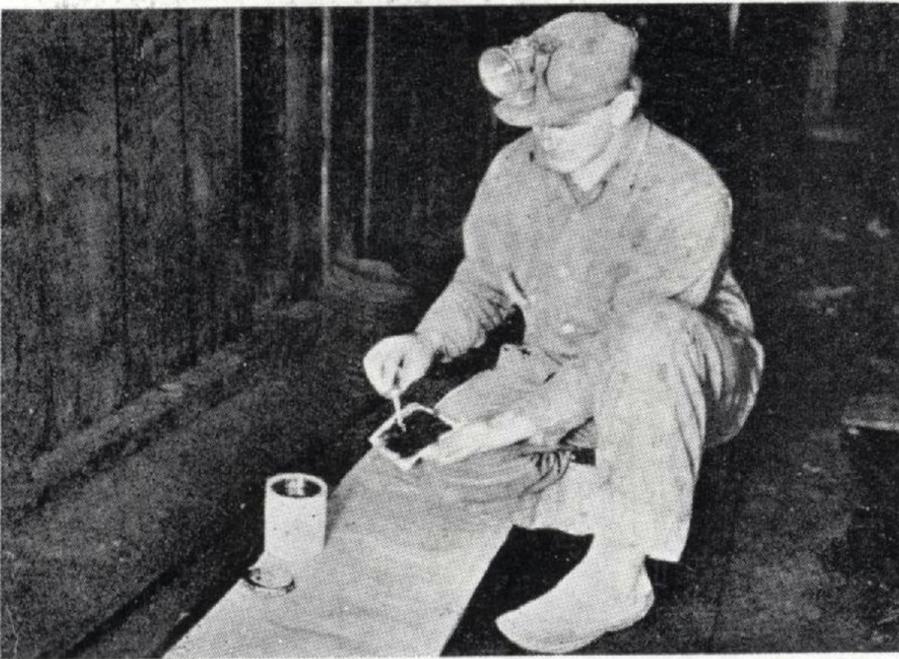
坑道開さくに「メイン チューブ」を使用して 能率をグングン挙げている鉱山の實例



タニサワ式は日本で初めてメイン

修繕法

メイン チューブは前述の如く普通の取扱ひでは容易に破損しない様に丈夫に出来ておりますが、万一破傷した場合には自転車のチューブを修理する様にパッチを当てて簡単に修繕する事が出来ます。猶応急法としては布片等を当てて縫付けて



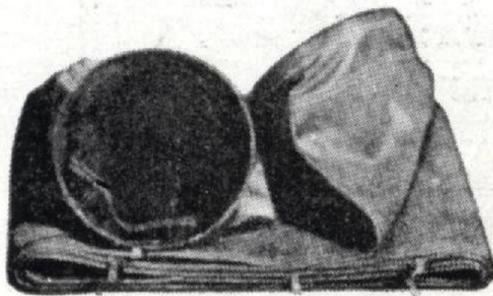
ておいても充分間に合ひます。

タニサワ式 メイン チューブは皆喜ばれております理由は非常に軽い、前述の通り一人で20米も30米のものも持運びが出来ます。鉄板製の数倍も永持します。又特種の継手を使用するので取外し取付が狭い坑内でも簡単に出来ます。

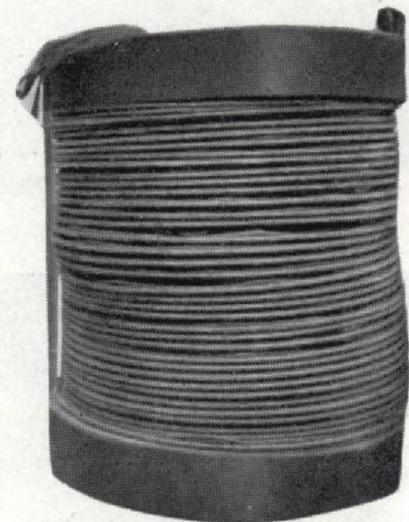
(他製と目方を比較して下さい。)

メイン チューブの種類

メイン チューブは下図の如く折畳める。又螺旋式は提灯の如く押縮りますから輸送上楽です、但し一本の長さは5米位までの取扱いが容易です。



折畳式風管



螺旋式風管

局部扉風機の種類

併せてこのメイン チューブに取付て送風する局部扉風機には電動式と圧縮空気式と二種があります。

電動式は交流三相200/220V50/60~ { 2極 3/4馬力から 10馬力位までです。然して電動機の型式は耐瓦斯、耐爆型のも
4極 }
が多く採用されております。それ故に化学工場での瓦斯の引火とか、炭礦内での瓦斯の危険は全然ありません。日本全国の炭礦鉾山には多数採用されております。一方圧縮空気応用のものは鉾山、工場等で圧縮空気のある処ならば直ぐ使用することが出来ます、即ち3/4吋のエアーホースを差込み弁を開けば運転します。然も瓦斯の引火爆発の心配は全然ありませんから保安上からも推薦に値します。電動式と違い電線の配線工事を必要としませんから経費の節約になります。

但し送風機の価格は電動式に比し高価であります。

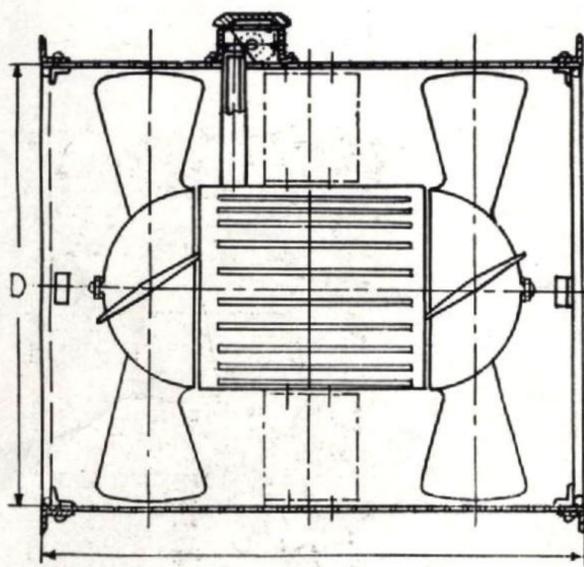
チューブを紹介した専門メーカーであります

小型送風機

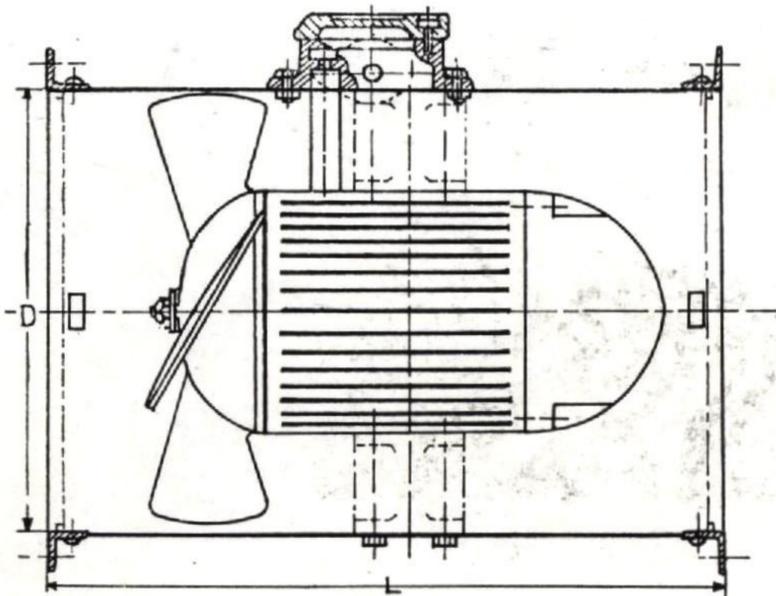
小型送風機は色々ありますが御手持の型式でも排気口にマインチューブをかぶせ針金で口を堅く締めてスイッチを入れれば直ぐ使用出来ます。又下図の如きものもありますから御希望の節は御用命下さい。此の型式のものは、モーターがファンの中に据付てありまして、全密閉、耐ガス式になつておりますから安心して使用が出来ます。



(4極) 本機之性能 (送風量50~/60~の場合)						
型式	馬力	回転数 (毎分)	送風量 (フリエアー)	静圧 (水柱)	D $\frac{m}{m}$	L $\frac{m}{m}$
TSB-2	1.	1500 / 1800	100/120m ³ /m	35 $\frac{m}{m}$	440	587
TSB-3	2.	1500 / 1800	130/160m ³ /m	45 $\frac{m}{m}$	500	640
TSB-4	3.	1500 / 1800	175/210m ³ /m	70 $\frac{m}{m}$	567	740
TSB-5	5.	1500 / 1800	240/280m ³ /m	80 $\frac{m}{m}$	620	790
TSB-6	7.5	1500 / 1800	300/360m ³ /m	95 $\frac{m}{m}$	720	880
TSB-7	10.	1500 / 1800	370/420m ³ /m	110 $\frac{m}{m}$	770	1000



型式 TSB-4極



型式 IEV-2極

(2極) 本機之性能 (送風量50~/60~の場合)						
型式	馬力 HP	回転数 (毎分)	送風量 (フリエアー)	静圧 (水柱 $\frac{m}{m}$)	D	L $\frac{m}{m}$
IEV-1	$\frac{3}{4}$	3000 / 3600	70 / 80m ³ /m	40 $\frac{m}{m}$	285	430
IEV-2	1.	3000 / 3600	80 / 95m ³ /m	50 $\frac{m}{m}$	366	510
IEV-3	2.	3000 / 3600	110/130m ³ /m	75 $\frac{m}{m}$	420	550
IEV-4	3.	3000 / 3600	145/175m ³ /m	80 $\frac{m}{m}$	470	590
IEV-5	5.	3000 / 3600	210/250m ³ /m	90 $\frac{m}{m}$	520	690
IEV-6	7 $\frac{1}{2}$	3000 / 3600	260/310m ³ /m	100 $\frac{m}{m}$	570	720
IEV-7	10.	3000 / 3600	310/360m ³ /m	110 $\frac{m}{m}$	620	880